

美瑛中

美瑛町立美瑛中学校
学校だより
令和5年9月号

「美瑛中文化祭の新たな始動」 校長 金山 達也

去る9月9日(土)、第48回美瑛中学校文化祭を無事に終了することができました。閉会式の校長あいさつの中で、「令和元年度以来、4年ぶりの美瑛中文化祭の復活」を宣言する予定でしたが、オープニングでの生徒の代表者たちの宣言「僕たちの新たな文化祭」というキーワードを聞いて、うれしくなりました。本校の文化祭は、昨年の文化祭や1学期に実施した体育祭の反省をもとに、生徒会が中心となって、企画運営を行います。文字どおり生徒の手による生徒のための行事です。教員は可能な限りの話し合う時間や活動する時間を保障し、生徒をサポートする側になります。生徒は自ら考えます・・・どんな文化祭にしたいのか・・・それが原点となります。「僕たちの新たな文化祭」という宣言は、まさに行事そのものが生徒のものになったと思える瞬間でした。

★開会式のオープニングから、文化祭を盛り上げようという気持ちが全開～少し緊張気味であった会場全体も盛り上がりました。★吹奏楽部の素晴らしい演奏～アンコールの手拍子がいつもより大きく感じました。★そして、合唱発表会～生徒全員が未体験のイベント。それゆえに、生徒アンケートを参考に、合唱に対する不安を考慮して、密集をさげ、マスク着用も自由としました。その結果、4年ぶりとなる生の歌声が体育館に響きました。コンクール形式ではなく発表会のため、賞はつきませんが、こんなに素晴らしいハーモニーが生まれることを実感しました。★工夫を凝らしたイベント～景品目指して、学級が大いに盛り上がりました。★作品制作や昨年復活したブース～校内のあちこちで長蛇の列ができ、様々な体験ができました。★午後のステージ発表～ダンス、カラオケ、バレエ、コントなど多種多様な表現の数々、手拍子・静寂・笑いで会場が包まれました。★虹色ムービープロジェクト～各学級の紹介、クラスの一人ひとりを意識しながらも学級のまとまりを見事に表現。令和2年、コロナ禍で合唱という活動が制限をうけたことから始まった「虹プロ」も合唱発表会の実施で、今年でお役御免となるかと思いましたが、生徒の要望から、新たな「虹プロ」として始動。自分の学級を振り返るよい機会となりました。★閉会式での文化祭を振り返る映像や写真。★そして、昨年からはじまったジェット風船～文化祭の最後を飾るにふさわしい演出となりました。

「文化祭テーマ『Switch!みんなでつなぐ灯火』の通り、この4年間、小さくともはっきりとした灯火をつなげてきた先輩の思いを3年生は今年立派に表現してくれました。そして、その思いを1・2年生は来年、再来年へとつなげてほしい」閉会式で生徒のみなさんにお祈りしました。

みんなで作り上げることの大変さや素晴らしさを経験することができる学校行事。その学校行事がこの4年間で大きく様変わりしています。金曜日に体育祭、土曜日に文化祭を連日の半日日程で行っている学校もあるようです。美瑛中は、伝統を受け継ぎながらも、生徒の思いを大切にしています。限られた時間の中で、その思いを具現化するために何が出来るかを美瑛中の教職員は常に考えています。今後もより一層のご理解とご協力をいただければ幸いです。

第48回文化祭 Switch! ~みんなでつなぐ灯火~

9月9日(土)美瑛中学校第48回文化祭が行われました。4年ぶりの校舎内での開催に、ご家族限定とはなりましたが、多くの皆様にご来校いただき、生徒たちが懸命に取り組む姿を見ていただくことができました。

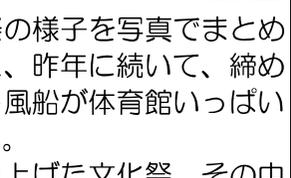
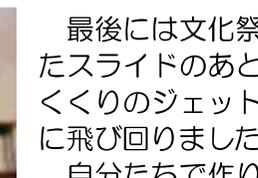
午前中には吹奏楽部演奏、合唱発表会、イベントが行われました。自分たちはもちろん、来場されたたくさんの人たちにも楽しんでもらおうと、愉快的ゲームやクイズが繰り広げられました。



昼食時間と並行し、各ブース、作品制作発表が校内の至る所で行われました。



さらに午後からは再び体育館に集まり、ステージ発表、虹色ムービープロジェクトと、練習や準備を重ねてきたことを、存分に披露していました。



最後には文化祭の様子を写真でまとめたスライドのあと、昨年に続いて、締めくくりにジェット風船が体育館いっぱい飛び回りました。

自分たちで作りに上げた文化祭。その中で得た楽しさと喜び。そんな笑顔が見られた一日でした。来年はぜひ、地域の皆様にもご覧いただきたいと思います。

